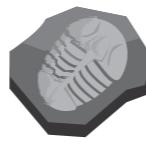


# 地質館だより



# 「北と南から」

この4月に佐川地質館に新しく学芸員として赴任してきました森と申します。

四国の北隣の広島県生まれで、北極圏の近くにあったアラスカ大学を卒業後、これまで九州や愛知で学芸員として働いてきました。館内の標本の確認、ウェブサイトの更新など、すべきことが多いパンク気味ですが、早く仕事に慣れるべく努力していきたいと思います。

先日、ある方から『なぜ佐川にカルスト地形があるのか?』という質問を受けました。

佐川の大地は、太平洋のプレートによって南から運ばれてきた土砂からなっています。南方にあったサンゴもこの土砂の中に巻き込まれて運ばれてきました。このサンゴなどの石灰分が溶け出してできたのが鍾乳洞やカルスト地形です。佐川ではナウマンカルストや不動が岩屋洞窟が有名ですね。



### 〈不動が岩屋〉

佐川町からは、石灰分が溶け出す前のサンゴの化石もたくさん見つかっています。

ここで、地質に興味をお持ちの方は違和感をお持ちになつたかもしれません。日本島に沈み込んでいる太平洋のプレートは、主に東から西側に移動しています。それがあるのでしょうか？実は、プレートの沈み込む方角が変わつたのです。当然、それより前に佐川の地に到達し含まれます。

北からやってきた私が南からやってきた化石を扱うのも、巡り合わせかなという気がしています。



# チーム佐川 監督メッセージ

No.76

## ～ひとりごと・つぶやき・ボヤキ～

〇月〇日晴れ。邑見和道

## 「協働の森づくり事業」

高知西ロータリークラブ様が創立40周年事業として、平成22年11月に佐川町と締結をした「協働の森づくり事業」が10年目を迎え、先月5月11日に役場町長室において10回目となる調印式を高知西ロータリークラブの前田会長と行いました。この事業のおかげで、尾川地区の町有林には作業道も入り、少しずつ整備を進めることができます。この協働の森事業も一つのきっかけとなり、その後自伐型林業の形による町内の森林整備が一歩ずつ着実に進んでおります。多くの山林所有者様から

もご協力いただき、集約化を進めることができます。昨年度から新しくできた森林の経営に関する法律に基づき、自治体が主体となって森林の整備をすることが必要になっていますが、佐川町の取組みは全国の自治体のモデルとして、林野庁からも推薦していただいている。多くの方のご縁をいただき、ご力添えをいただき、前に進めることができています。森に感謝し、先人に感謝し、これからも美しい森づくりに取り組んでいきます。

チーム佐川 監督 堀見和道（町長）



【第30回スポーツ少年団総合交流大会 （4月29日）青少年体育館】桜空手塾		空手	
□個人形		第2位 山中彩佳（斗賀野小学校）	
小学2年男子	3位 横田琉海	小学2年男子	3位 横田琉海
小学6年男子	3位 門屋翔瑛	小学6年女子	3位 横田瑠花
中学女子	3位 横田琉愛	中学女子	3位 横田琉愛
□個人組手		□個人組手	
小学2年男子	優勝 横田琉海	小学2年男子	優勝 横田琉海
小学4年男子	3位 竹内理陽	小学4年男子	3位 竹内理陽
小学6年女子	準優勝 横田瑠花	小学6年女子	準優勝 横田瑠花
中学女子	3位 横田琉愛	中学女子	3位 横田琉愛



アボリツ

【全国小・中学生選手権高知県予選  
(4月33日) 春野口一ト】